かずさDNA研究所ニュースレター第88号 挑戦!あなたもゲノム博士 クイズの答えと解説

問題1

トランスレーショナルリサーチは、基礎研究の成果を実用的な医療技術や医薬品につなげる研究ですが、日本語で何と訳されているでしょうか?



A: パイプ役研究 C: 橋渡し研究

B: 仲人研究 D: 口利き研究 問題1答え:C: 橋渡し研究

研究で明らかになった疾患のメカニズムの知見を、診断・治療・予防の新しい技術へと発展させ、ヒトにおける治療のための試験につなげる研究をトランスレーショナルリサーチ(橋渡し研究)と呼んでいます。日本では2007年度から5ヵ年の「橋渡し研究支援推進プログラム」が全国7拠点の研究機関で進められました。

問題2

アレルギー疾患は、外部からの抗原に対して過剰な免疫反応が起こる疾患ですが、ハウスダスト、花粉や小麦など、アレルギーを引き起こす環境由来抗原を何というでしょうか?



A: アレルゲン C: 免疫グロブリン B: ヒスタミン D: サイトカイン 問題 2 答え: A: アレルゲン

アレルギー症状を引き起こす原因となる物質をアレルゲンと呼び、抗体と 反応してアレルギーを引き起こす物質(抗原)です。その抗原を含んだ食 品などを指すこともあります。アレルゲンを含む食品の表示は、消費者庁 の食品表示法により規程され、特定原材料8品目(えび、かに、くるみ、 小麦、そば、卵、乳、落花生)に表示が義務が付けられているほか、特定 原材料に準ずる20品目(アーモンド、あわび、いか、いくら、オレンジ、 カシューナッツ、キウイフルーツ、牛肉、ごま、さけ、さば、ダイズ、鶏 肉、バナナ、豚肉、マカダミアナッツ、もも、やまいも、りんご、ゼラチ ン)に表示の推奨がなされています。

かずさDNA研究所ニュースレター第88号 挑戦!あなたもゲノム博士 クイズの答えと解説

問題3

アレルギーマーチは、子どもの成長によって、 様々なアレルギー疾患に順番にかかる様子を例 えたものです。次の中でアレルギー疾患でない ものはどれでしょうか?



A: アトピー性皮膚炎 B: 気管支喘息 C: 自己免疫疾患 D: 食物アレルギー

問題3答え: C: 自己免疫疾患

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎や気管支喘息などのアレルギー疾患が、子どもの成長する過程で出てくる現象のことをアレルギーマーチといいます。一方、自己免疫疾患は、免疫系が体内の正常な組織を攻撃する疾患で、炎症や組織の損傷が生じます。関節リウマチやある種の糖尿病なども自己免疫疾患に分類されます。